

茨城県八千代町 & 早稲田大学 地域連携スタディツアー2024

地域連携スタディツアーとは

参加学生が地域の文化、産業、自然環境などを直接体験し、地域の課題や魅力を深く理解することを目的とした、早稲田大学と地方自治体が共同で企画する実践的な学びのプログラムです。

プログラムのなかで、自治体や地域住民、企業等との交流を通じて、設定されたテーマについて考察します。地域社会の現実的な課題に直面し、解決策を模索する経験を積むことで、今後の地域連携や地域貢献活動に役立つ「学び方を学ぶ」ことができます。このプログラムを通じて、自らの経験値を上げ、地域を見る目、地域の課題解決に対応する力をぜひ養ってください。

おすすめのポイント！

- 地域資源を活かした、若者目線の公共施設の活用方法を町に対して提案
- 八千代町の主力産業である農業を、農家さんのもとの体験します。
- 副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域の対象プログラムです。

テーマ

ほどよい田舎の公共施設を活用したにぎわい創出プロジェクト！！
～誰もが一度は訪れてみたいと思える環境づくり～

八千代町には、グリーンビレッジ内にある憩遊館（温泉施設）、キャンプ場や町民公園など、人々が憩い、交流することのできる広い敷地を持った公共施設があり、最近では、野外音楽イベントの「やちおん」や、白菜を担ぎながら走る「白菜駅伝」など、地域の特性を活かした各種イベントが開催されるようになりました。

今回のワークショップでは、農業体験や自治体、団体等に対するインタビューを通じて、現状を知り、地域資源を活かした、ワクワク感あふれる、にぎわいを創出するような若者目線の公共施設の活用方法を町に対して具体的に提案していただきます。

八千代町の魅力

八千代町は、茨城県の南西部、東京から約 60km の距離にあります。温暖な気候と広大な田園地帯を有しており、古くから首都圏への生鮮食料品供給基地として発展してきました。八千代町では様々な農産物が栽培されていますが、特に生産量日本一の「白菜」、全国有数の産地である「メロン」、茨城県の銘柄産地に指定されている「梨」は市場関係者や消費者からも高く評価されています。

また、自然災害に強いということも魅力のひとつではありますが、伝統に培われたほのぼのとした農村空間の中で、人間性が豊かで温かい方が多く、住み心地の良いことが最大の魅力です。



募集概要

募集期間	2024年10月7日（月）～10月20日（日）23：59 [期間厳守]
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生（修士課程）（学部、専攻、学年問わず）
応募条件	①2回のオンデマンド授業を視聴し、それぞれ課題を提出すること、②現地3泊4日の全日程に参加すること。③終了後に期限内にレポート提出すること、以上、3点を確約できる者。
募集人数	14名 ※応募者多数の場合は、志望理由で選考します。
実施の流れ	① 12月と1月に各1回のオンデマンド授業を受講し、それぞれ課題を提出 ② 現地実習参加 ③ 終了後にレポート提出
応募方法	① MyWASEDAの「お知らせ一覧」から「地域連携スタディツアー2024春編」を検索 ② 「地域連携スタディツアー2024春編応募フォーム」から「申請」をクリック 必要事項（志望理由など）を入力して申請
選考方法	書類選考：結果通知は 2024年11月11日（月）までにWasedaメール にて通知します。 ※ <u>面接選考（オンライン）を実施することがあります。</u> その際は対象者に別途ご案内します。
注意事項	① 本スタディツアーは課外活動なので、卒業単位の対象ではありませんが、副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域に「1単位相当」として認定されます。※卒業単位には算入されません ② 12月と1月に各1回のオンデマンド授業を実施し、それぞれ課題を提出してもらいます。授業の日程については、対象者にご連絡します。また、現地実習終了後に提出レポートがあります。 ③ 2025年2月17日から20日の現地実習は、現地集合・現地解散で、往復交通費は自己負担です。 ＜交通費目安＞新宿駅～八千代町役場前 片道 2,000円（湘南新宿ライン+バス） ④ 参加者が現地で負担する費用は、毎回の食費（朝食・昼食お弁当@800×5食分=4,000円+夕食3回分実費）です。 ＜宿泊場所＞八千代グリーンビレッジ憩遊館 〒300-3565 茨城県結城郡八千代町松本 592 ⑤ 現地での移動、宿泊代、温泉施設の入浴料は、八千代町役場からご支援をいただきます。 ⑥ 現地では、本学教員と八千代町職員が引率します。 ⑦ 現地実習の途中からの参加や早退は認められません。 ⑧ 最終日の成果発表会（八千代町役場）で、各自成果をプレゼンテーションしてもらいます。 ⑨ 早稲田大学の学生補償制度（損害補償・賠償責任補償）に加入いただきます。費用は大学が負担します。 ⑩ 現地実習実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いになりません。 ⑪ 参加確定後に、正当な理由なく参加を取りやめた場合、以後の地域連携スタディツアー、地域連携ワークショップ等に応募できないことがあります。 ⑫ 【重要】当スタディツアーに参加が決定した場合、11月末～12月上旬に募集予定の地域連携ワークショップおよび企業連携ワークショップへの応募はできません。事前に各プログラムの特色などをご確認の上、応募してください。 ⑬ 本スタディツアーでは連携先、大学がInstagram等公式 SNS を含む広報活動の目的で写真・映像を撮影します。掲載の際には個人特定されないよう十分注意いたしますが、あらかじめご了承ください。 ⑭ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。
問合せ先	グローバルエデュケーションセンター 准教授 加藤基樹（motokato@waseda.jp） ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部／研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

現地実習のスケジュール（予定）

2025年			
2月17日	月	13:20	八千代町役場 集合
		13:30	町役場にて聞き取り調査
			JA常総ひかりから聞き取り調査
		17:00	グリーンビレッジにチェックイン・夕食・班別学習
2月18日	火	9:00～16:00	終日 農家にて農作業実習（聞き取り調査含む）
		以後	夕食・班別学習
2月19日	水	午前	公共施設（グリーンビレッジ憩遊館、町民公園、中結城地区公園、図書館、鬼怒川サイクリングロード）視察調査
		午後・夜	プレゼンテーション作成
2月20日	木	9:00	成果報告・意見交換会 （プレゼンテーションと講評・八千代町役場）
		10:40	現地解散（10：53 八千代町役場 発）

※天候や訪問先のご都合によって、変更が生じる場合があります

その他

副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域では、2単位相当を要件としています。

本スタディツアーは1単位相当なので、これだけでは不足しますが、地域連携スタディツアーは、夏休みと春休みに、それぞれ数カ所で開催しています。今後、複数のスタディツアーに参加して、それぞれの違いを感じながら、実践的に学んでいくことをおすすめします。

※プログラム終了のスケジュールの関係で 2025 年 3 月卒業予定の方は認定が間に合わない場合がありますのでご注意ください。なお、卒業単位には算入されません。